



江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和2年 10月 27日 発行
通算 第513号

教育目標 強い子になろう

病気を隠す生き物

校長 花生 典幸

10月17日(土)、お天気が少し心配される中、なんとか無事に「運動会」を行うことができました。当日は、朝早くからたくさんの方の保護者・ご家族のみなさま、そしてご来賓の方々が足を運んでくださり、がんばっている子どもたちに温かい励ましの声援を送っていただきました。



コロナ禍の影響により、日程を5月から大きく変更させての開催でした。競技内容も減らし、午前中で終了という、いつもとひと味違った運動会になりましたが、みなさまのおかげで、やり遂げることができました。子どもたちも終始立派な態度で感心させられました。ご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。

「病気を隠す生き物」……さて、みなさんは何の生き物だと思いますか？

答えは、ハムスターです。

ハムスターは、見た目がふわふわしていて、可愛らしい生き物です。特にしつけが必要というわけではなく、お世話も楽そうに見えるということで、お家でペットとして飼っている子どもたちも多くいるようですが、実は飼う前に知っておくべきことがたくさんある生き物なのだそうです。

自然の中で生きるハムスターは、外敵が多く、病気やけがで弱っているようすを見せると、すぐに狙われてしまいます。そのため、病気になったり、何かけがをしたりしても、平気な「ふり」をするのだそうです。飼い主が病気に気づいた時には、もう手遅れ、ということにもなりやすい。たとえば、いつも通り食欲があるように見えても、実はエサをほお袋にためているだけだったり、食べたふりをして巣の中に隠していることもままあるのだそうです。獣医さんのアドバイスによると、「エサをあげる時には、一日に食べる量だけを与え、できれば毎日体重を量ってください。体のようすやウンチの量も毎日観察して、少しでも変わったことがあったら、病院に行ってください」。

その獣医さんは続けてこんなことも話しています。

「ハムスターは、落下によるけがが多い生き物です。“自分がもしハムスターだったら”と想像すると、人間の膝くらいの高さでも、ハムスターにとってはビルの屋上くらいにも感じられるんです。くれぐれも気をつけてください、ハムスターの目線になって」。

ハムスターは、その可愛らしさとは裏腹に、本当はいじらしいほど健気で、見た目以上にデリケートな生き物だということですね。



病気を隠して生きている……わたしは、このハムスターの話聞いて、そこに子どもたちの姿がちよっと重なりました。悩みがあったり、何かつらいことがあったりしても、それを表に出さず(あるいは出せず)に、密かにそっとかみ殺しながら過ごしている、そういう子どもは確かにいるのかもしれませんが。その思いをいつも頭に置いて(わたしだけでなく、本校の先生方みんな)、子どもたちの変化にアンテナを敏感にしなが、指導にあたっていかなければいけない、そんなふうに思っています。